

英語コミュニケーションコース

将来、語学系の大学や専門学校への進学、留学等を希望する生徒を対象とするコースです。実践的な英語力を身につけるため、学校設定科目「グローバル・コミュニケーションⅠ・Ⅱ」の授業を週2時間、2年間受けます。また、英語でのコミュニケーション力やプレゼンテーション力の向上を目指し、様々な校外学習に参加できます。

Goal 1 外部検定試験対策

海外大学卒業の経験豊かな社会人講師とALTによる少人数授業で、英検2級の取得やTOEICでハイスコアを目指します。語学系大学ばかりではなく、様々な大学の進学に必要な英語力を身に付けます。



Goal 2 「おもてなし英語」で実践的なコミュニケーション力養成

本校教師とネイティブ・スピーカーの外国人講師による少人数授業で、グローバル社会で求められるInteractive Englishを身に付けます。自ら心遣いができる英語コミュニケーション力を養います。



Goal 3 パワーポイントを使ったプレゼンテーション力育成

本校行事English Dayでは、校外学習の体験を英語で発表します。また、国際交流や留学生来校の際に、日本文化紹介や学校案内を行う原稿作成やスピーチを行います。教室外で英語を使うことによって異文化交流を深め、学習意欲を高めます。



オーストラリア短期留学



8日間オーストラリアシドニーを訪れるプログラムです。ホームステイをしながら、現地の学校で、語学研修を行います。週末には、動物園や国立公園を観光して、オーストラリアの自然を満喫できます。参加した生徒たちは、日本文化紹介や、自分で考えたテーマ「日本食の浸透度」「オーストラリアのペット」「行きたい国」などについてレポートを作成します。



国際理解教育

国際教育講演会

毎年11月「いばらき教育の日・教育月間」に行っています。JICA 青年海外協力隊員として派遣された方や、女性のエンパワーメントや「おもてなし学」を専門とする先生を講師としてお迎えし、グローバルな素地を身につけています。



2年 黒澤 晴子 さん（日立市立久慈中学校出身）

ネパール、ベトナム、ウクライナの地理や伝統、通貨や現状について知ることができる良い機会となりました。それぞれの伝統衣装はとても綺麗で格好良く、私も着てみたいと思いました。ネパールとウクライナには、餃子に似た料理があったり、ベトナムで最も多い名字は Nguyen（グエン）さんということを知ったりすることができ、とても有意義な講演でした。また、ウクライナ情勢を実際にウクライナの方から聞いたのは初めてで、胸が痛くなりました。再びキーウの素敵な景色が見られることを願っています。



高大連携事業

茨城キリスト教大学と本校・日立一高の連携事業です。茨城キリスト教大学で大学の講師陣による「英語総合講座」を受けることができます。半年間で12回の講座を受け、学校外学修として1単位の修得が認められます。

3年 遠藤 梨々花 さん（日立市立大久保中学校出身）

私は、英語学習の楽しさを実感しています。高大連携は、英文法を学んだり、英文を読んだりする授業ではなく、ゲームやペアワークを通して英語を使う授業ばかりです。英語でコミュニケーションをとることが本当に楽しく、英語がますます好きになりました。特に、英語を話せば話すほど、普段の高校の授業でも積極的に英語を使うようになり、発音も上達していくように感じています。海外への憧れも強くなりました。この事業に参加してよかったと思っています。



British Hills

福島県の British Hills で2日間レッスンを受講します。中世英国を思わせる施設で、英会話の授業ばかりではなく、作品制作やお菓子作りなどを通して英語を使うことによって、実践的な英語力の向上を目指します。

3年 高矢 心愛 さん（ひたちなか市立佐野中学校出身）

最初は、英語漬けの環境に心配や不安を抱えていました。しかし、外国人の先生方が優しくわかりやすく話しかけてくれたおかげで、緊張が解け、英語に対する抵抗感が薄れ、自分の中で作っていた英語は難しいという壁を乗り越えられたように感じています。また、英語を理解しながら、スコーンを作ったのも思い出の一つです。イギリスにいるような気分になれる建物で、非日常的な時間を過ごせたことは、行動制限が多かった生活の中で貴重な体験となりました。



TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)

英語コミュニケーションコースに在籍する生徒と希望者が参加します。機内・ショップ・レストラン・ニュースキャスターなど体験型英語学習を通じて、英語コミュニケーション力を育成するとともに、異文化理解を深めます。

1年 根本 柚芭 さん（北茨城市立常北中学校出身）

英語だけが話される空間で、実際に海外に行ったかのような体験をすることができました。何より、エージェントの方々とコミュニケーションをするには、言葉ばかりではなく、ジェスチャーや伝えようとする気持ちも大事だと感じました。レストランでの注文や、買い物の場面を通して、May I...? のような定型表現を使えるようになりました。英語を使う楽しさ、英語が通じるうれしさを忘れずに、積極的に英語の学習に取り組んでいきたいと思っています。

